

平成 27 年 4 月 20 日

各 位

会社名 新生企業投資株式会社
代表者名 代表取締役社長 松原 一平**iPS 細胞・再生医療関連のベンチャー企業向け投資ファンドのファイナルクローズについて**

新生企業投資株式会社(以下、「当社」)は、平成 26 年 9 月 29 日発表の「iPS 細胞事業を展開するリプロセルとの Cell Innovation Partners, L.P.の運営開始について」にて、株式会社リプロセル(神奈川県横浜市、代表取締役社長 横山周史、以下、「リプロセル」)と共同で「Cell Innovation Partners, L.P.」(以下、「本ファンド」)の運営開始をお知らせいたしました。本ファンドのファイナルクローズを平成 27 年 3 月 27 日に行いましたのでお知らせいたします。

本ファンドは、再生医療実用化に向けた研究開発の進展を背景に、国内および海外の iPS 細胞・再生医療関連ベンチャーへの投資を目的として、リプロセルの 100%子会社、RC パートナース株式会社と当社が共同で設立した Cell Innovation Partners Limited が GP(無限責任組合員)出資を行い、リプロセル、株式会社新生銀行、SMBC 戦略出資 2 号投資事業有限責任組合が LP(有限責任組合員)出資する形で平成 26 年 9 月 26 日に総額 8 億円で運営を開始いたしました。今般のファイナルクローズでは、事業会社 1 社が新規に LP 出資を行い、ファンド総額は 9 億円となりました。新たに事業会社加わることで、投資先バイオベンチャーの成長に貢献する支援の幅が広がるとともに、優良な技術を保有する事業会社の iPS 細胞・再生医療分野への参入を支援できると考えております。

本ファンドでは、引き続き、国内および海外の iPS 細胞・再生医療関連ベンチャーへ成長資金を提供することで次世代の創薬・医療ビジネスの早期実用化に資することを目指し、優良な iPS 細胞・再生医療関連ベンチャーへの投資を積極的に行ってまいります。

当社では、Pre-IPO 投資としてミドル・レイターステージのベンチャー企業に成長資金の提供を行うとともに、外部パートナーとの共同ファンド設立を積極的に行ってまいりました。また、iPS 細胞・再生医療関連分野は、新生銀行グループの第二次中期経営計画にて定める医療・ヘルスケアなどの重点分野であることから、当社では、成長資金の提供を通じて、新しい産業分野の創造に貢献してまいります。

【本ファンドの概要】

名 称 : Cell Innovation Partners, L.P.
所 在 国 : ケイマン諸島
設 立 : 平成 26 年 3 月
ファンド規模 : 9 億円
運 営 者 : Cell Innovation Partners Limited※ (URL: <http://www.cell-ip.com>)
出 資 者 : GP(無限責任組合員)出資: Cell Innovation Partners Limited
LP(有限責任組合員)出資: 株式会社リプロセル、株式会社新生銀行、
SMBC 戦略出資 2 号投資事業有限責任組合、
事業会社 1 社
期 間 : ファンド期間 7 年
投 資 対 象 : 国内および海外の細胞・再生医療関連ベンチャー

※リプロセル 100%子会社の RC パートナース株式会社と新生企業投資株式会社がそれぞれ 50%出資して平成 26 年 2 月に設立したケイマン諸島籍の本ファンドの運営・管理会社。

以 上